

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

生鮮な食品・農産物の品質 & おいしさの非接触見える化システムの実現

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

柏崎 勝(宇都宮大学 農学部 准教授)

5. 評価結果

消費者の嗜好に合致した食の情報提供サービスを目指す本研究開発は、日本の食品・農産物の高価値に化より競争力を強化できる魅力的な課題であると評価され採択された。特に生鮮食品の美味しさの見える化は消費者、流通両方のニーズが高い研究開発と期待された。

探索研究期間の進捗として、果物の品質を多角的に定量化できている点や、果実の香り・味を可視化する表現方法の提案など顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、多角的な評価データの統合や、規格化に向けての検討が不十分であると評価された。特に、消費者の多様な嗜好を学習するには、果実の定量評価と消費者の意見に係わるビッグデータが必要とされるが、その取得や解析を含め、まだ検討課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上